

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【公開番号】特開2014-236960(P2014-236960A)

【公開日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【年通号数】公開・登録公報2014-070

【出願番号】特願2014-94989(P2014-94989)

【国際特許分類】

A 4 7 B 31/02 (2006.01)

B 6 4 D 11/04 (2006.01)

A 4 7 B 31/00 (2006.01)

F 2 5 D 3/00 (2006.01)

A 4 7 B 31/06 (2006.01)

【F I】

A 4 7 B 31/02 D

B 6 4 D 11/04

A 4 7 B 31/00 H

F 2 5 D 3/00 B

A 4 7 B 31/06

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月17日(2016.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内部に空洞が画定された筐体、
前記筐体から前記空洞内に延びる少なくとも一つの支持レール、
前記支持レールに一体化された複数のエンコードされた第一の部分、及び
前記エンコードされた第一の部分で受けられ、前記筐体内に保持される他の冷媒ブリッ
クに対して選択された構成で前記空洞内で冷媒ブリックを結合するように構成される、噛
合式のエンコードされた第二の部分を有する少なくとも一つの前記冷媒ブリック、
を備え、
前記構成は、前記第 1 の部分及び前記第 2 の部分のエンコードにより決定される、
 貯蔵コンテナ。

【請求項 2】

前記エンコードされた第一の部分は、前記少なくとも一つの支持レールの溝であり、前記エンコードされた第二の部分は、前記少なくとも一つの冷媒ブリックの対向する側面から延びるタブである、請求項 1 に記載の貯蔵コンテナ。

【請求項 3】

前記エンコードされた第一の部分は、あるパターンで順序付けされた幅の広い溝及び幅の狭い溝を備え、前記エンコードされた第二の部分は、関連付けられた前記幅の広い溝及び幅の狭い溝で受けられる噛合パターンで順序付けされた幅の広いタブ及び幅の狭いタブを備える、請求項 2 に記載の貯蔵コンテナ。

【請求項 4】

前記エンコードされた第一の部分は、支持レールセグメントであり、前記エンコードさ

れた第二の部分は、前記少なくとも一つの冷媒ブリックの対向するエッジの凹みである、請求項 1 に記載の貯蔵コンテナ。

【請求項 5】

前記少なくとも一つの冷媒ブリックが、前記少なくとも一つの支持レールに支持される貯蔵引き出しの下に延びるように構成される、請求項 1 に記載の貯蔵コンテナ。

【請求項 6】

前記少なくとも一つの冷媒ブリックが、下方の少なくとも一つの支持レールに支持される貯蔵引き出しの上に延びるように構成される、請求項 1 に記載の貯蔵コンテナ。

【請求項 7】

前記少なくとも一つの冷媒ブリックは、標準使用のために画定された第一の大きさのブリック、又は長距離輸送での使用のために画定された第二の大きさのブリックである、請求項 1 に記載の貯蔵コンテナ。

【請求項 8】

前記少なくとも一つの支持レールは、複数の支持レールを備え、エンコードされた係合部分は、前記複数の支持レールの隣接する支持レールに互い違いに配置される、請求項 1 に記載の貯蔵コンテナ。

【請求項 9】

ギャレーカートを冷却する方法であって、

ギャレーカートの筐体の内側の壁にある選択された支持レールを第一の噛合部分としてエンコードすることと、

冷媒ブリックを、第二の噛合部分でエンコードすることと、

前記冷媒ブリックを、前記ギャレーカートでの使用の前に冷凍することと、

前記冷媒ブリックを、前記第一の噛合部分及び前記第二の噛合部分のエンコードにより決定される、選択された構成により前記選択された支持レールで受けることを含む方法。

【請求項 10】

貯蔵引き出しを前記冷媒ブリックの間に挿入することをさらに含む、

請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記冷媒ブリックを支持する選択された支持レールの間にある中間支持レールに前記貯蔵引き出しを挿入することを含む、

請求項 10 に記載の方法。